

第5部 相談業務

目 次

1. 食品衛生，環境衛生などに関する相談	-----	(管 理 課)	--	75
2. 各種講座の開催	-----	(管 理 課)	--	75
3. 消費者コーナーニュースの発行	-----	(管 理 課)	--	75
4. 有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律に基づく試買	-----	(管 理 課)	--	76
5. 簡易騒音測定器の貸出し	-----	(管 理 課)	--	76
6. 衛生公害研究所セミナーの開催	-----	(管 理 課)	--	76

1. 食品衛生、環境衛生などに関する相談

平成13年度に取り扱った相談件数は43件、相談項目は図1のとおりである。

1) 食品の品質、安全性

食品の安全性や検査機関についての相談があった。

2) 食品の保存・表示・栄養

食品や栄養機能食品の表示についての相談があった。

3) 食中毒、カビ

食中毒菌の性質や検査法などについての相談があった。

4) 生活環境

身近な家庭用品類、衛生動物、生活騒音、水質検査などの相談があった。

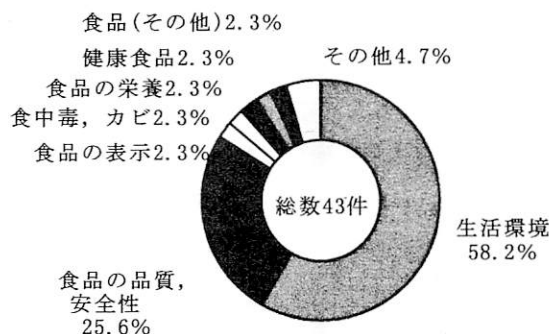


図1 食品衛生及び環境衛生に関する相談

2. 各種講座の開催

市民の食品衛生、環境衛生などに関する知識や関心を高めることを目的に、平成13年度には表1に示すとおり9回の講座を開催した。(参加人員283名)

表1 各種講座開催状況

	講座・団体名	参加人員(名)
13年5月	京都大学大学院医学研究科	11
5月	海外研修生(タイ)	2
7月	大和学園	45
8月	夏休み中学生のための生活環境教室	54
9月	京都大学医療技術短期大学部	45
10月	京都府立医科大学	100
10月	中国江蘇省環境保全訪問団	7
11月	京都私立病院協会	10
14年3月	国立感染症研究所	9
計		283

平成13年5月には、タイから海外研修生を受け入れ「微生物の分離・類識・抗菌などについて」の研修を行った。

また、8月には「夏休み中学生のための生活環境教室」を開催し、参加者54名が、大気、水質、騒音、食品、生き物の5コースに分かれ実験などの実習を行った。

普及啓発活動を推進するため、16ミリ映画フィルムやビデオテープを所蔵しており、上記講座で活用しているほか、保健所など関係機関への貸出も行っている。

(所蔵フィルム、ビデオ)

・食中毒関係	12巻
・食品添加物関係	11巻
・環境衛生関係	7巻

3. 消費者コーナーニュースの発行

市民が健康的な生活を送るために必要な公衆衛生に関

する情報を紹介するパンフレット「消費者コーナーニュース」を年3回発行し、来所者や希望者及び関係機関などに配付している。

平成13年度発行の「消費者コーナーニュース」の主な内容は次のとおりである。

1) No. 84 (平成13年8月発行)

(1) ウイルス感染症について

ウイルス感染症の種類と感染の仕方及びそれに対するヒトの免疫システムと主なワクチンについて紹介している。

(2) 京都市感染症発生動向調査事業について

本事業の実施体制と当所で独自に解析した京都市の患者情報・検査情報を市民などに提供する方法(当所ホームページ)及び感染症の分類について紹介している。

(3) 衛生動物シリーズ

アタマジラミについて、その確認方法、被害及び駆除の基本、予防の方法について紹介している。

(4) 牛乳の成分について

2) No. 85 (平成13年12月発行)

(1) 新しく増えた食品の表示

食品衛生法に本年4月から新たに加わった遺伝子組換え食品の表示、アレルギー食品の表示、保健機能食品(特定保健用食品と栄養機能食品)の表示についてその対象や方法などを紹介している。

(2) 調査研究部門の業務について

京都市における空中花粉の実態調査、ハチの分布調査や病原微生物の遺伝子解析(細菌・ウイルス)などの業務内容を紹介している。

(3) 衛生動物シリーズ

アシナガバチの種類、刺された場合の被害及び駆除の

方法などについて紹介している。

(4) 牛乳等の殺菌・保存の基準について

(5) 牛海綿状脳症(BSE)について

平成13年9月に日本で初めて BSE が確認されたことに伴う京都市を始め全国の自治体で牛肉の安全確認をするために万全の体制がとられていることを紹介している。

3) No. 86 (平成14年3月発行)

(1) アオコについて

富栄養化などで発生する植物性アオコプランクトンの発生のしくみ、種類、発生の時期、毒性の有無と市内右京区にある広沢池のアオコプランクトンの消長(2000年)について紹介している。

(2) 遊泳用プールの水質検査について

京都市における遊泳用プール水についてその衛生確保のため新しい水質基準、検査体制などを紹介している。

(3) 衛生動物シリーズ

ミツバチ類について、その生態(分封の時期など)、巣の危険性及び自然界での役割について紹介している。

(4) 栄養機能食品に表示される栄養成分の機能について

4. 有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律に基づく試買

法律により基準の定められた家庭用品に含まれる有害物質を検査するため、必要な試験用材料を市内の販売店(百貨店、スーパーなど)から購入している。

平成13年度は、次の計638検体の試買を実施した。

- | | |
|--------------|------|
| (1) 乳幼児用繊維製品 | 250点 |
| (2) 子供用繊維製品 | 150点 |
| (3) 婦人用繊維製品 | 100点 |

(4) 紳士用繊維製品 100点

(5) その他繊維製品、家庭用エアゾル製品、家庭用洗浄剤、家庭用塗料など 38点

(検査項目及び結果はP. 11, 12参照)

5. 簡易騒音測定器の貸出し

所有する4台の簡易騒音測定器を希望する市民に貸し出している。

平成13年度の貸出件数は45件であった。

6. 衛生公害研究所セミナーの開催

衛生公害研究所セミナーを11月に開催し、11の演題について発表があった。その内容は、表2に示すとおりである。

表2 衛生公害研究所セミナーの演題等

演 題	発表部門
1 高齢者の家族構成・介護状況等からみた生活実態について	疫学情報
2 京都市における流行性耳下腺炎の発生動向	疫学情報
3 糞便からの小型球形ウイルス(SRSV)の検出について	臨 床
4 マルチプレックス RT-PCR 法によるインフルエンザウイルス遺伝子検出	微 生 物
5 牛の尿毒症について	病 理
6 ガラクトース血症マス・スクリーニングにおける酵素法の有用性について	臨 床
7 LC/MS/MSによる合成抗菌剤一斉分析について	生活衛生
8 京都市における母乳中の残留 PCB 等の測定結果について(1971~2001)	生活衛生
9 広沢池におけるアオコ形成プランクトン類の消長	環 境
10 酸性雨調査に対する三宅島噴火の影響について	環 境
11 キャニスター法による有害大気汚染物質モニタリングについて	環 境